

見るポイントがわからない



「見るポイントがわからない」解説

大抵の人は、仕事の説明を受ける際、今見るべきポイントを自然にフォーカスします。これは「まず全体に目を向け、そこから必要な細部の情報を知ろうとする」あるいは「細部の情報から全体を想像する」ことができるためです。この「全体を見て構成を想像する」ことが苦手な障害特性の方が多くいます。どこを見たらよいか分からず、自分の興味関心のある細部ばかり見てしまうというのはよくあることです。

この4コマの職員は、それを知っているのに「会社の見学という見たことのない情報が多い場所では訓練生が色々な刺激に気を取られるだろう」と想定しました。説明中にキョロキョロ

して会社の方に失礼とならないよう「話している人の方を見て」とアドバイスしたのでですね。皆さん非常に素直に、ずっと話している人の方を見てしまいました。また、「この」という言葉とジェスチャーだけでは何をj欲しいか意図が分かりにくい場合があります。言葉にして「次はこの機械を見てください」と行動まで伝えると理解できました。ちなみに余談ですが、全体を見るのは苦手でも、細部に注目することは得意という人もいます。このタイプの方は、検品作業では職員も気が付かないほどの傷を発見してくれます(ただ、「これくらい傷なら大丈夫」などの曖昧な判断は苦手です)。

日中一時支援事業のご案内

就労にも役立つ 社会技能を知らう!

学校だけじゃない、就労移行支援事業所ならではの社会で使えるSST!

令和6年度上半期開催スケジュール

開催月	タイトル (参加者の状況により内容を変更することがあります)
4月	初めて会った人に自己紹介する
5月	電話で休みを伝えるとき
6月	返事をする/相づちを打つ
7月	作業で失敗したとき
8月	知り合いからの誘いを丁寧に断る
9月	キャッチセールスを断る

※15歳以上の高校生の方が対象です

利用の流れ

まずはあっぷでーとへ問い合わせ
お住まいの福祉課に行つて日中一時支援事業について相談をしてください

あっぷでーとで事前面談と利用契約をします

あっぷでーとに来てSSTを受けましょう

あっぷでーと
TEL 0749-50-6740

令和5年9月から日中一時支援事業を始めました。事業内容は高校生を対象としたSS

Tで、令和5年度に計7回実施しました。職員にとっても初めてのことで、今の高生にはどういうテーマが役に立つのかというところから探り探りの状態でスタートさせました。幸いにも参加者の皆さんが「楽しかった」「学校で同じ場面があった時に出来た」など感想を挙げてくれたため、その声に励まされて続けることができました。賑やかでフ

レッシュな高校生に元気を分けてもらいつつ、私たちも楽しんで取り組まれました。ご参加下さった皆様、ありがとうございました。

今年度も日中一時支援事業でSSTを開催します。上半期のテーマを載せていますので、興味があればぜひご参加ください。また、「こんな困りごとがある」「これをやって欲しい」などのご意見もお待ちしております。

あっぱれびゅー

第7号 令和6年6月1日発行
社会福祉法人あせんぶるおー
〒521-0012 滋賀県米原市米原中町通549
電話 0749-50-6740
FAX 0749-50-6743

退職のご挨拶

就労継続支援A型事業所に勤務していた時「新しく就労移行支援事業所ができるので」と出向命令を受けました。開所に向けた事務所改装のお手伝いから始まり、平成二五年四月一日に就労支援センターあっぷでーとが開所しました。他の職員の方々より遅れて参加した私は、開設に伴って複雑な事務手続きや利用者の新規募集、カリキュラムの考案など様々な業務に皆さんがとて苦勞されたんだなと感じました。その時点で就労移行支援事業所の支援員としてはまだまだ知らないことも多く、たくさんさんの研修に行かせていただきました。この経験は支援に携わる上でとても有益なものでした。また、あっぷでーとの職員のレベルの高さを日々感じ、訓練生が就労に向け真摯に取り組んでいる様子、就労だけでなく生活面でもフォローしたり社会に少しも配慮しやすくなるよう心を配る様子、就労後にも長く定着するよう支援を続ける様

子などから私自身も学ぶことがありました。退職を迎え、同じ職場で体感(仕事)できたことが感慨深く、良い経験を積ませていただいたと感じています。

訓練の日々を振り返ると「なぜこんなことが起こるんだろう」「なぜこんなことを言われなければいけないんだろう」と戸惑うことがありました。自分の何がいけなかったのかと考え込み、辛くなることもありました。経験を積むことでその人その人の特性や背景を見られるようになり、そうなる「あの時は自分が未熟だったのだな」と感じることもありました。

色々なことがあっても今日まで勤務できたのは、訓練生の方たちが努力していただけることが増えていたり、笑顔で会話をしてくれたりしてパワーをもらえ



たからです。もちろん、職員の皆様の気遣いの心に助けられたこともありました。

これからも、訓練生の方々には、あっぷでーとを話を聞いてもらえる場所・安心感を得られる場所と思っていればと思います。精神的にも身体的にも快適で愉快に過ごせるようになってもらいたいからです。

最後に、長い間本当にありがとうございました。皆さんの今後の健康とご活躍を祈っています。

令和六年三月三日 粕刈 晃

粕刈さん退職に寄せて

粕刈晃さん、長い間お世話になりました。ありがとうございます。これからも、訓練生の方々には、あっぷでーとを話を聞いてもらえる場所・安心感を得られる場所と思っていればと思います。精神的にも身体的にも快適で愉快に過ごせるようになってもらいたいからです。

就労支援センターあっぷでーとは、平成二十五年(二〇一三年)四月から事業を開始しました。できたての頃は資金もなく、職員さんは湖北圏域の障害福祉事業を行っている法人から出向してきていたただき運営をしていました。粕刈さんも就労継続支援A型事業所から出向されていました。開設時の職員は三名で、また、湖北圏域で就労移行支援事業を本格的に行うのは初めてであり、苦勞をしていたことと思います。それから十一年間勤めていただきました。仕事経験も人生経験も豊富な粕刈さんがいることで、他の職員にも訓練生にも安心感が生まれ、仕事もうまくできてきたのではないかと思います。

これからは第二の人生、いろんな趣味をお持ちなので楽しんでください。七〇歳のことを「古希(古稀)」と言いますが、その由来は「人生七十古来稀(じんせいしちじゅういまいまれなり)」

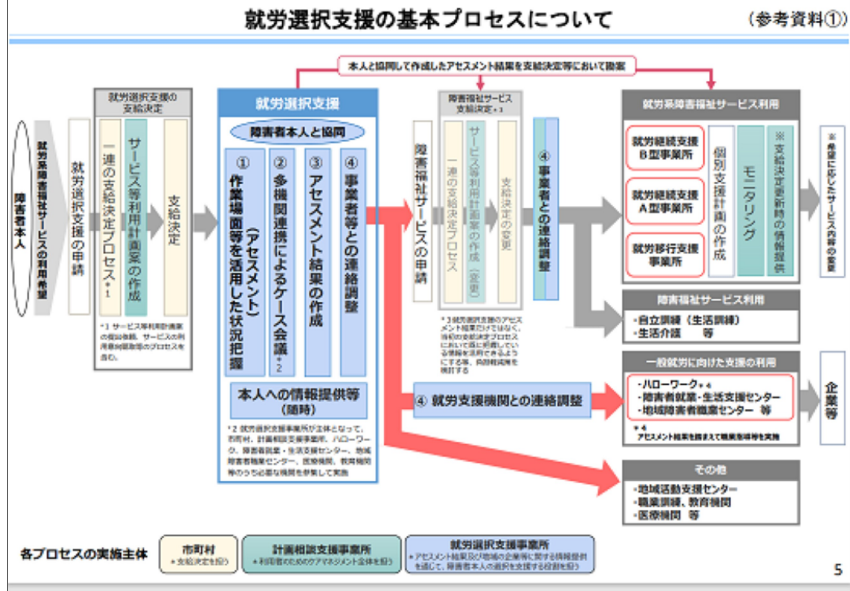
誰もが百歳以上生きるかもしれない時代を生きています。そうであるならば第二の人生は新たな生き方に挑戦し、いつまでも元気で頑張ってください。

誰かが百歳以上生きるかもしれない時代を生きています。そうであるならば第二の人生は新たな生き方に挑戦し、いつまでも元気で頑張ってください。

就労の開始・継続段階の支援における地域連携の実践に関するモデル事業の実施について

令和7年10月から新しいサービスとして「就労支援事業」が実施される予定です。厚生労働省担当官によると、これまで就労移行支援事業の範囲内で行っていた「就労アシメント」を活用し、本人が就労先・働き方についてより良い選択をできるようにすることです（図参照）。

円滑な制度の運用に向け、多機関の連携や地域の実情に応じた実施方法を構築するため、滋賀（湖北・湖東・湖南圏域）、島根、熊本の3地域が選ばれ、令和5年10月からモデル事業が実施されました。湖北圏域は「効果



社会保障審議会障害者部会(第139回)、こども家庭審議会障害児支援部会(第4回) R5.12.11 参考資料2

的なケース会議の持ち方」を中心に検討することと、あつぱでーとは新規で3ケースご協力いただきました。元々、ケース会議は個別のケースに合わせて関係機関に参加していただいていたのですが、今回は本人とは直接関わりのない機関にも参加していただいたり、圏域全体でのケース会議も実施されました。

湖北は3つの事業所がそれぞれアシメントを行うことで、視点の違いも浮き彫りになりました。全国で事業が実施されると、研修を行ってもアシメントの違いは大きくなるのではないかと感じ

ています。

そもそも就労アシメントを行うことを軸にして立ち上がったあつぱでーとは、より良い進路選択のために評価し、本人の可能性や支援が必要な部分を伝えるよう尽力してきました。全国的にはこのような理念は浸透していなかったようで、「これまでの就労アシメントの失敗を踏まえてモデル事業を」と担当官に言われた時には少なからずショックを受けました。それだけ理念なく行っている事業所が多いのかもしれない。

AIが発展した今、AIが質問する内容に答えるだけでそれなりに整ったアシメントはできるでしょう。実際に、大手はそのようなものを使って出力すると聞くこともありますし、福祉人材が不足している現状では「事務の省力化が必要」と言われればそうかもしれません。しかしあつぱでーでは、支援者がこれまで培ってきた知識や技能、たくさんの人と話したりトレーニングしたり支援をしてきた経験と、社会の情勢を踏まえて一緒に検討することが利用者にとって力になり、今後の第一歩につながると考え、これからも取り組んでいきたいと思っています。

研修報告

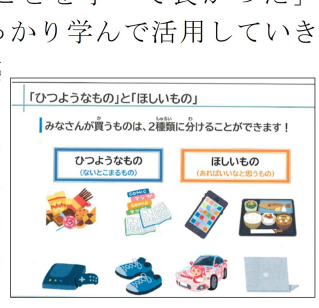
今回は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(JED)が開催する就労支援セミナー研修を受講しました。2回参加し、1回目は「ナビゲーションブックの作成と活用」というテーマでした。ナビゲーションブックとは、「自分のことを知りたい」「自分のことを他の人に伝えられるようにしたい」と考えたときに使う「自己紹介シート」のような物です。2回目は「就労活動から職場定着まで。企業の求める人物像と課題を明確にし、その為に支援者がどのようにアプローチ出来るのか」という内容です。障害者雇用の雇用率は年々引き上げられているため、企業が新たに障害者を雇用する機会も増えていくでしょう。そんなときに「ナビゲーションブック」の活用が有効とのこと。本人の事を知ってもらい、「ぜひうちで働いてもらいたい」と思ってもらえるように使う「自己紹介シート」のような物です。2回目は「就労活動から職場定着まで。企業の求める人物像と課題を明確にし、その為に支援者がどのようにアプローチ出来るのか」という内容です。障害者雇用の雇用率は年々引き上げられているため、企業が新たに障害者を雇用する機会も増えていくでしょう。そんなときに「ナビゲーションブック」の活用が有効とのこと。本人の事を知ってもらい、「ぜひうちで働いてもらいたい」と思ってもらえるように使う「自己紹介シート」のような物です。

「本当に必要なものか考える」「高い買い物は必ず家族に相談」「何にいくら使い、いくら残っているのか管理する」「お金の貸し借りはトラブルの元」「『このサイトに登録したら儲かるよ』は詐欺」等々、大事なことを教えていただきました。訓練生からは「知っているようで知らなかったことを学べて良かった」「今一度しっかり学んで活用していきたい」と感想がありました。改めて、安定して働くためにはお金の知識も大切！

「お金を貯めるのは、2層に分けることができます！」

ひつようなものは、2層に分けることができます！

ほしいものは、2層に分けることができます！



学習会～お金って大事～

あつぱでーとは、1～2年に一度「お金の使い方」について講師をお招きし、皆が考える時間を設けるようにしています。今回は、滋賀県金融広報委員会に依頼し、ファイナンシャルプランナーの丸山さんにご講演いただきました。

私たちが支援する中で、就労後の金銭トラブルは頭を悩ませることの一つです。「やりくり」という概念が育たないうちに給料をもらって、気が大きくなって全て使い切ってしまうことがあります。近年はQRコードで決済を行ったりオンラインゲームで課金をするなど、お金が目に見えないものになりつつあるため、お金を使った実感が持ちにくいことも事実です。また、インターネットでたまたま見た詐欺広告をクリックしてしまったり、思ってもみなかった契約をしてしまうこともあります。ご講義いただいたことは、「稼いだ

もいいんだな」「あまり考えすぎずに、働くことに集中するって大事なんだ」「障害者雇用って配慮がもたらえたり時間の融通がきくこともあるのか。それはありがたいな」など様々な感想がありました。

この場を借りて、ご協力いただいた企業の方々、あつぱでーとOBの皆さん本当にありがとうございました。

会社見学

学習会「OBの話」を聞くことは、令和元年まで、企業へ行き、OBが働いている様子を見学させてもらうという取り組みを行ってききました。しかし、令和二年～令和四年の三年間はコロナ禍で企業見学に行くことができませんでした。令和五年度はコロナ禍も落ち着き、三か所の企業から見学の承諾をいただきました。

見学先は、それぞれの訓練生の状況や課題を考えて職員が振り分けました。学習会当日は、班ごとに会社の方やOBにしたい質問をまとめて出発しました。

Q 働く時に心がけていることは？ (A 有休も使い、根を詰めないようにすること)

Q 働いて良かったことは？ (A お金を稼いで趣味に使える。周囲の理解がある)

Q 働き続けるためには？ (A 何も考えずに目の前の仕事をすること、周りに配慮を得ること)

Q やりがいを感じたことは？ (A 「A」ありがとうと言ってもらえたとき)

Q やめたいと思ったことは？

学習会報告

3月の学習会では、三井アウトレットパーク滋賀竜王に行きました。1年に1回は出かけ、就職先やあつぱでーへの通勤時に着る服・仕事に使う物を購入するのが恒例行事となっています。

今回は、全員に「スマートカジュアルの服を一点は購入すること」というお題が出されました。スマートカジュアルとは、ジャケットやシャツ、パンツスタイルなどの少し綺麗な服装を指します。近年は会社の面接に行くとき「スマートじゃなくても良いですよ」と言われることがあります。また、ホテルでの食事に出かける際なども、普段着よりは少し綺麗な服装にする必要があります。訓練生の中には、現在着ている服以外に持っている服はスエットやジャージなどの着ている服がほとんどという方や「少し綺麗な服装って何？」と戸惑う方がいるため、事前に写真を提示して説明を

行いました。当日は、着から足元まで、実際何を持っていいかわからない、何を購入したら良いかわからないことと職員と相談しながら店を回りました。普段服には興味がない人、自分の服や靴のサイズを知らない人には貴重な体験になりました。

予算が決まっているため、計画的にお金を使う体験にもなります。値札を見て「これは高い」「これなら予算内で買えそう」と吟味したり「これの30%OFFっていくら？」など計算する必要もありました。現在はインターネットショッピングやキャッシュレス決済が普及しており、便利な反面、現金を使う経験が減っています。元々数字が苦手な、かつ、普段はキャッシュレス決済を使っているためにどのお金を出したら良いかわからなかったりあえず全でお札で払い気付けば小銭が大量になる人もいます。買い物だけでなく、昼食についても、ご飯・飲み物・デザートをどのように注文すれば良いのか悩む方もお

り、職員と一緒に考えました。皆それぞれ課題はありますが、普段行かないところに一緒に行って、いつもと違う経験をすることで気づくことや学ぶこともあります。

事業所戻ってからは、ファッションショーとまではいきませんがお披露目会。「かわい」「オシャレ」「カッコイイ」など皆から言ってもらい、恥ずかしそうにしている人もいました。翌日早速着てくる人もいて、「それ昨日のやつだね」「似合うよ」など声をかけ合う様子も見られました。身だしなみについては、家族に言われるより、他人から言われた方が素直に受け止められることもあります。今回、周りからのアドバイスを忘れず、自分でも身だしなみをチェックするためのきっかけになればと思います。



「A嫌なこととはあったが「負けてたまるか」と思っ」

Q 働くために大事なことは？ (A わからないことをわからないままにしないこと。確認すること。毎日会社に行く。やりがいを持つこと)

OBも緊張で言葉に詰まりつつも正直に伝えてくださいました。企業の方には会社の説明を丁寧にしていただき、訓練生からの質問にも具体的にわかりやすく答えていただきました。訓練生は会社の人やOBが話してくれたこと、真剣に聞き、中にはメモをとる人もいました。「説明中にどこを見ていたら良いか」「たぐさんの人と一緒に見る時の立ち位置が分からない」という人もいたため、後日、SST(社会技能訓練)のお題にもなりました。帰所後は各班で見学したことを振り返り、その後全体で共有しました(写真参照)。訓練生からは「わからないことはどんどん聞いて

「A嫌なこととはあったが「負けてたまるか」と思っ」

Q 働くために大事なことは？ (A わからないことをわからないままにしないこと。確認すること。毎日会社に行く。やりがいを持つこと)

OBも緊張で言葉に詰まりつつも正直に伝えてくださいました。企業の方には会社の説明を丁寧にしていただき、訓練生からの質問にも具体的にわかりやすく答えていただきました。訓練生は会社の人やOBが話してくれたこと、真剣に聞き、中にはメモをとる人もいました。「説明中にどこを見ていたら良いか」「たぐさんの人と一緒に見る時の立ち位置が分からない」という人もいたため、後日、SST(社会技能訓練)のお題にもなりました。帰所後は各班で見学したことを振り返り、その後全体で共有しました(写真参照)。訓練生からは「わからないことはどんどん聞いて

R6.2.20 学習会「あつぱでーとOBに職場の話きこう！」

①働いている人数 ②時間(休日) ③内容 ④ふんいき ⑤困ったときは？

① 全体37(10名くらい)

② 9:30~15:30(12~13休)

③ 返本(棚にもどす)

④ 1年のスロガム

⑤ 部長、係長が対応

① 総括6名(35人)

② 8:30~15:30(12~14休)

③ トイレ、エレベーター

④ 作業員の呼び出し

⑤ 上司に相談する

① 35名(8名)

② 9:00~15:15(45分休)

③ 赤くりの仕事

④ 働かせやすい、ききやすい

⑤ リーダーに聞く